

2022年度 冬季大会 総評

今年度最後の大会は、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の拡大を心配される中での実施でしたが、無事に全チームが試合に臨むことができました。3年間コロナ禍の影響により十分な練習が確保できない状況でしたが、選手たちの成長した姿を見ることができました。

まず、今大会を含めた今年度の成果について3点述べさせていただきます。

1点目は、マンツーマンディフェンスについてです。特に1on1を厳しく守り切る場面が多く見られました。さらに、1on1だけでなく、2線目や3線目の意識が向上されていたと思います。2線目では、簡単にボールを持たせないようにディナイをしたり、ボールの動きを予測してパスカットをしたりすることができていました。3線目は、1on1で突破される前のヘルプのポジショニングと突破された後のヘルプの対応が素早く行われていました。また、「ボールを奪うために仕掛けるポイント」や「ローテーションの仕方」等についてチーム全体で共通理解が図られている高いディフェンス力をもつチームもありました。

このマンツーマンディフェンスについては2023年4月から規定が変わります。マンツーマンの基準規則が施行されて7年が経ち、選手・指導者の意識向上と正しいマンツーマンディフェンスが定着してきたことから、一段階フェーズを上げ、あるべき本来のバスケットボールの姿に近づけるためより実践的なディフェンスを目指していくこととなります。今後も選手一人一人の育成のために、今年度までに培ってきた正しいマンツーマンの成果のもとに、JBAからの指針に則って各チームで研鑽を積んでほしいと思います。

2点目は、ファンダメンタルについてです。マンツーマンディフェンスの意識向上によって、個のファンダメンタルの力が1年間で高まってきました。例えば、2線目のディナイ(オーバプレー)をしてきたときのバックドアカットに対してのパスや、1on1からの3線目のヘッジに対してのキックアウトのパスの精度が上がっていました。状況に合わせた適切なプレーを選択し、ミスをせずに行えるだけのスキルが身につけてきています。

3点目は、チーム力についてです。6年生最後の大会ということもあり、どのチームも一層「勝ちたい」という気持ちがプレーに表れていたと思います。U12は「育成世代」であり、「勝利“至上”主義」は馴染みませんが、個の育成に目を向けながらチームが一体となって勝利を目指して頑張ることは、価値があると思います。その中で、選手たちが成長の実感や成功体験をすることができたからこそ、どのチームも最後の大会にふさわしい素晴らしいゲームになったのだと思います。

次に、今大会を含めた今年度の課題について2点述べさせていただきます。

1点目は、オフボールの時の動きについてです。U12では1on1の育成を大切にしていますが、ボールを持っていない選手(オフボールマン)の動きが不足しているように見えました。オンボールのオフenseに突破力があっても、オフボールマンのポジショニングによってスペースがなくなってしまいます。自らの1on1のためにボールをもらう動きや、仲間の1on1を有利にするためにスペースを空けるための動きなど、オフボールの時のポジショニングや動きについて理解し、練習するとよいと感じました。

2点目は、思考についてです。24秒という限られた時間の中でオフェンスを成功させるためには、一つ一つのプレーに意図があるべきです。ドリブルを例に挙げれば、意図もなくドリブルをするのではなく、「相手を抜くため」「スペースを空けるため」「相手が～な状況だから」など、ディフェンスとの駆け引きの中でなぜそのプレーを選択したのか、明確な意図をもつことで仲間との共通理解が図られやすく、プレーの精度も高まってくると思います。ドリブルだけでなくその他のプレーに関しても、日頃の練習から「自分は今どういうプレーを選択したいのか」「それはなぜなのか」選手自身が考えながらプレーし、言葉にしてチームメイトと共有していくことが大切です。

最後に、この1年間で選手たちは大きく成長することができました。また、どのチームからも「バスケットが大好きだ」という思いが全力で無我夢中なプレーや応援などから伝わってきました。今後も「バスケットで日本を元気に」の理念のもと、選手を指導する指導者や日々を支えてくれる家族、バスケットにひたむきに取り組む選手が一体となり、バスケットボールライフを全力で楽しんでほしいと思います。

6年生のみなさんは、バスケットボールを通して学んだことをこれからに活かしてください。また、全ての選手のみなさんが、来年度さらに活躍することを楽しみにしております。

選手・育成会・指導者の皆様、今年度最後の冬季大会大変お疲れ様でした。以上、今大会の総評とさせていただきます。